

日本画

「椿礼賛」

山本 淳子(宿毛市)



やまもと・じゅんこ 1962年新潟県村上市生まれ。「美の会」所属。初特選。

生命の奇跡感じつつ

る。花、貝殻、波…。自然物の形

大小のツバキの花が、画面にちりばめられている。品種はさまざま。白い花に交じって1輪だけ、赤いふりものがある。それが洗練されたアクセントになっている。

短大の造形美術科で洋画を学んだ。日本画に取り組みようになって

たのは、8年ほど前。今回の作品は、昨年の県展に出すつもりだった。花びらの質感を表現しようと何度も塗り直したが、うまくいきないうまき。仕上がりにほど遠く、出品を先送りした。

今年も試行錯誤が続いたが、ある段階で

「とにかく仕上がった。これ以上は、今の自分には無理。さらには手を加えたら、逆に壊していくんじゃないか」との感触を得た。「地球上の生物は、

「特選なんて思いも寄らなかつた。1年置いて良かった」というの神秘を感じながら日々を暮らしています」

よくスケッチをす

(福田 仁)